

2025年度 ニチキッズニッセイみらい市ヶ谷保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月15日（木）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「一人ひとりを大切に丁寧な関わり」を意識し、子どもの思いや気持ちに寄り添う保育を心掛けてきた。日々の関わりの中で子どもの安心感や信頼関係の構築に努め、個々が自己発揮できる環境づくりに取り組んだ。今後も職員間で理念の共有を図りながら、より一層実践につなげていきたい。
子どもの発達援助	子どもの人数や状況に応じて、一人ひとりと関わる時間を意識的に確保し、発達や個性に応じた援助を行ってきた。また、子どもの思いや主体性を大切にしながら、柔軟な保育を心掛けた。今後はさらに子どもの姿を丁寧に捉え、より発達に即した関わりの充実を図っていきたい。
保護者に対する支援	送迎時の会話や日々の関わりの中で、子どもの様子や成長を具体的に伝えることを意識した。保護者とのコミュニケーションを大切にしながら信頼関係の構築に努めてきたが、十分とは言えない場面もあった。今後はより丁寧に双方向のやり取りを意識し、安心して預けられる関係づくりを深めていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員間での情報共有や連携を意識しながら保育に取り組んできたが、業務の時間配分や連携面において課題も見られた。今後は業務の見直しや効率化を図るとともに、職員間の連携をさらに強化し、チームとして質の高い保育が行える体制づくりを進めていきたい。

総評
園の保育理念を踏まえ、一人ひとりの子どもに寄り添った保育を意識して取り組むことができた。また、子どもとの関わりや保護者対応を通して信頼関係の大切さを改めて実感することができた。一方で、職員間の連携や業務の進め方、保護者との関わり方については課題も見られたため、次年度に向けて改善が必要である。今後は、子どもが安心して過ごし主体的に活動できる環境を整えるとともに、職員間の連携強化と業務効率の向上を図り、より質の高い保育の実践を目指していきたい。また、保護者との信頼関係を一層深め、子どもの成長を共に支えていけるよう努めて参ります。